

## 広島県特別支援学校教育研究会 平成 28 年度研究成果報告

### 平成 28 年度 広島県特別支援学校教育研究大会



開会行事

広島県特別支援学校教育研究大会を平成 28 年 12 月 27 日（火）、広島大学サタケメモリアルホール及び教育学部棟において開催しました。平成 28 年度の会員は 1175 名で研究大会には約 640 名の参加者がありました。

開会にあたり、広島県教育委員会教育長 下崎邦明様から御祝辞を賜りました。その後、元愛媛大学教育学部教授 上岡一世様から「特別支援学校における主体的な学びの在り方～人生の質を高める教育～」と題して御講演をいただきました。

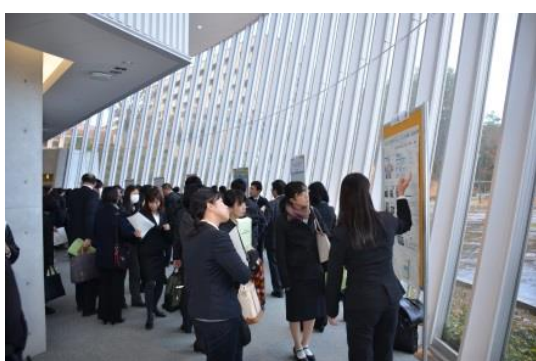
御講演から、人生の質を高めるためには、「存在価値」「社会的役割」「コミュニケーション力」の向上を重視しなければならないこと、また、スキルよりも意欲に焦点を当て、「内面を育てる」ことが重要であること等を学ぶことが出来ました。97%以上の参加者が「ぜひ活用したい」「活用したい」とアンケートに答えていることから、講演内容が大変有意義なものであり、今後の特別支援教育の充実・発展に役立ったものと考えます。



講演会

午後からは、7校の自主企画による学校企画発表、また、全特別支援学校による「学びの変革」のポスターセッションを行いました。参加者は自由に各会場へ行き、積極的に発表者との対話、協議を行う姿が見られました。アンケートの感想にも「教材等今後ぜひ活用したい」「他校の取組を聞いてとても参考になった」等、肯定的な意見が多くありました。

その後、3つの研究グループによる研究発表と指導講話がありました。各グループごとに、ビデオを見たりワークシートを活用したりしての協議、ICTを活用しての交流等を行い、参加者の主体的な姿を促す工夫が見られました。アンケートからも「様々な報告があり今後活かしていきたい」「グループ協議の中で様々なアイデアが出て良かった」等、90%以上の参加者から「ぜひ活用したい」「活用したい」という回答がありました。



ポスターセッション



学校企画発表



分科会

参加者の主体的な学びを目指して取り組んだ結果、大変有意義な研究大会になったととらえています。

今後は、研究大会の成果を各学校の実践に活かし、広島版「学びの変革」アクション・プランを推進し、本県の特別支援教育の充実・発展を図っていきたいと考えます。